

NITS・広島大学教職大学院コラボ研修

「スクールリーダー育成研修」

受講者が所属校の課題を明らかにし、課題解決を図る過程を通して自己の役割を自覚するとともに、学校の組織的な運営の中核となる役割を果たすスクールリーダーとしての資質の向上を図ることを狙いとして、令和3年度から「スクールリーダー育成研修」を広島県内の市町教育委員会等と共同開催している。

研修の流れ

スクールリーダー育成研修の特色



(1) アクションリサーチ型研修

市町教育委員会と広島大学教職大学院が連携し、目標管理と連動した「アクションリサーチ型」研修を通年で実施することにより、所属校の課題解決を図る過程を通して、スクールリーダーとしての自覚を高め、マネジメントの力量の向上を図る。

(2) 広島県教員等資質向上指標の活用

受講者とその所属長を対象に、広島県教員等資質向上指標（教諭・講師）の「発展期」を用いて事前・事後アンケートを4件法で実施し比較することで、研修の効果を測定するとともに、管理職が指標を題材にして教員と対話し、人材育成を図ることを意図した。

(3) 「NITS・教職大学院等コラボ研修プログラム支援事業」を活用

機構が「学び続ける教員像」の具現化に資するため、各地域における現職教員の研修の高度化・体系化を実現するために支援し、その成果を全国に提示することで、教員の資質能力向上の全国的な充実を図ることを目的とする委託事業に採択され、所定の補助を受ける。

(4) 教職大学院修了生等の参加

教職大学院学校マネジメントコース修了生による実践発表や大学院生の部分参加に加え、前年度受講者による実践発表、広島県立教育センターの指導主事等が参加することで、教員の学習コミュニティの構築を目指す。



スクールリーダー育成研修 実践テーマ例

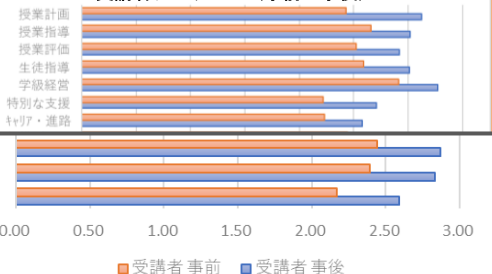
学校名	主任等	テーマ
a 小学校	初任者指導教員	「学び(真似び)たい! みんなでミニ座談会」
b 小学校	研究主任	「みんなで楽しく授業力アップ」
c 小学校	教務主任	「地域に開かれた学校へ～学校運営協議会とのさらなる協働～」
d 小学校	研究主任	「閉校年度の最高学年の担任として」
e 小学校	保健主事	「児童が進んで運動する体制づくりについて」
f 小学校	生徒指導主事	「若手教員が育つ環境づくり」
g 中学校	研究主任	「組織的なキャリア教育の充実」
h 義務教育学校	生徒指導主事	「生徒主体による生徒指導規程の改定に向けて」

「スクールリーダー育成研修」アンケート結果の概要 (令和4年度)

1 受講者とその所属長に、広島県教員等資質向上指標（30項目）を用いて事前・事後アンケートを4件法で実施して比較した。その結果、ほぼ全ての質問項目で肯定的評価が向上しており、特に「組織マネジメント」の項目で受講者が2.33から2.76に、所属長が2.66から3.02へと向上した。

2 事後アンケートの自由記述では、受講者が「リーダー・マネージャー・メンターの視点について知り、その視点を手に入れることができました。例えば研究通信に初任者の意見を取り入れる時は、マネージャーとメンターの2つの視点が入っている取組であると考えながら提案しました。他の先生方や管理職の声掛けや取組などでも3つの視点を感じることができるようになりました。」、所属長が「学校全体を俯瞰的に捉え、課題を把握するとともに、具体的な改善策を示すことが多くなりました。」と述べるなど、当初の研修のねらい通りの成果を得ることができた。

受講者アンケート (事前・事後)



所属長アンケート (事前・事後)

